



保健所からのお知らせ

「令和8年8月千葉豪雨」では、県内各地で浸水被害が発生しました。
清掃作業などを行い、具合が悪くなった場合は、早急に医療機関を受診しましょう！
また、清掃作業時にはケガや感染症を防ぐために、長袖・長ズボン、マスク・ゴーグル、丈夫な手袋、底の厚い靴などを着用しましょう！



全数把握対象疾患

松戸保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。
全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	2026年第32週～第33週		累計 (2026年第1週～2026年第33週)
2類感染症	結核	8	68
4類感染症	レジオネラ症	1	17
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9
	後天性免疫不全症候群	1	6



定点把握対象疾患

上段：報告数
下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値）

前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

小児科
定点

疾病名	前週比	第33週	第32週
RSウイルス感染症	↓	6 0.6	12 1.09
咽頭結膜熱	↓	- -	3 0.27
A群溶血性レンサ球菌感染症	↓	12 1.2	15 1.36
感染性胃腸炎	↓	22 2.2	54 4.91
水痘	↓	1 0.1	2 0.18
手足口病	↓	15 1.5	42 3.82
伝染性紅斑	↓	- -	1 0.09
突発性発疹	→	2 0.2	2 0.18
ヘルパンギーナ	→	5 0.5	5 0.45

急性
感性
染呼
症吸
器

眼科

疾病名	前週比	第33週	第32週
インフルエンザ	↑	18 1	14 0.7
新型コロナウィルス感染症	↓	16 0.89	23 1.15
急性呼吸器感染症（ARI）	↓	912 50.67	1486 74.3
急性出血性結膜炎	→	- -	- -
流行性角結膜炎	→	1 0.25	1 0.2

※急性呼吸器感染症（ARI）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例



【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】



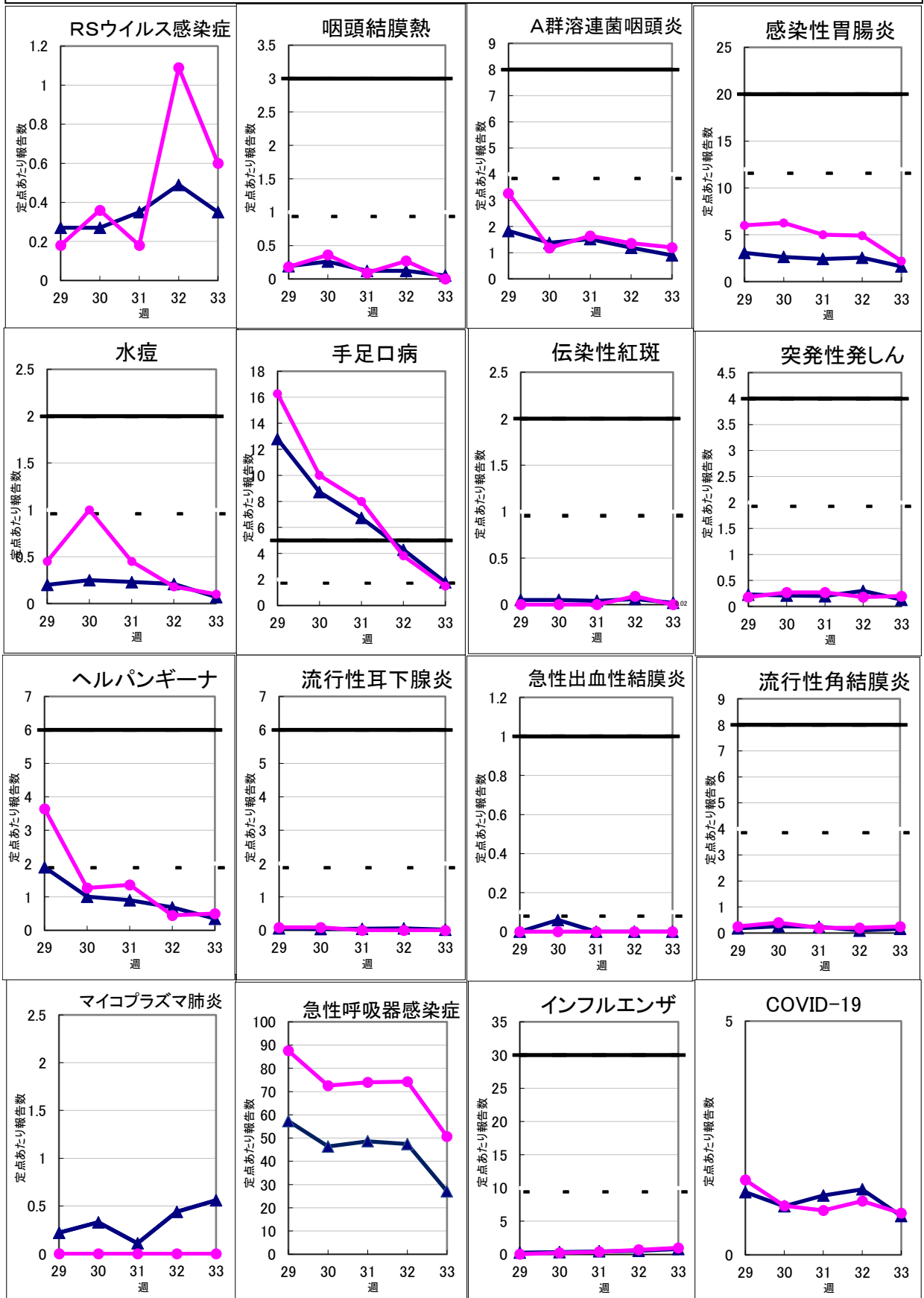
【集団感染発生状況】

活動性結核（①～④）		疾患名	報告数
①喀痰塗抹陽性	4	手足口病	1件 (保育施設)
②その他の結核菌陽性	0	RSウイルス感染症 及び 原因不明熱	1件 (保育施設)
③菌陰性その他	2	新型コロナウィルス感染症	1件 (高齢者施設)
④活動性肺外結核	1		
無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)	3		

数値は報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



災害時に注意すべき事項など

注意喚起

2026年8月13日に発生した「令和8年8月千葉豪雨」では、県内各地で浸水被害が発生しました。
災害時に注意すべき事項を取り上げます。

具合が悪くなった場合には、、、

- ✔ 早めに医療機関を受診
- ✔ 受診時には、ご自身の活動内容を伝える
例：大雨で被災した、浸水した家屋の清掃作業をした等

清掃作業時の注意事項

- ✔ ケガを防ぐ → 丈夫な手袋や底の厚い靴、長袖など肌の見えない服装を着用
- ✔ ケガをした場合 → 傷口を流水で洗浄し、消毒
深い傷や汚れた傷は破傷風になる場合があるため、医師に相談
- ✔ ほごりから目や口を保護する → ゴーグルやマスクを着用
- ✔ 「浸水した家屋等の消毒方法について」は下記の千葉県報道発表資料をご確認ください。
[浸水した家屋等の消毒方法について／千葉県](#)

破傷風について

発生動向

2026年第33週に千葉県内医療機関から届出はなく、本年の累計は3例です。

感染症について

★潜伏期間

3～21日
(平均10日)

★感染経路

主に外傷から土壌中の芽胞が侵入すること

★主な症状

開口障害、顔面けいれん、嚥下困難などから始まり、呼吸困難や後弓反張に移行する。
重篤な場合、呼吸筋の麻痺により窒息死することがある。

★対策

ワクチンが有効である

★発生状況

日本では1968年に定期接種化され、報告数が減少した。
ワクチン接種歴のない高齢者を中心に報告があり、注意が必要。

感染を防ぐためには

- ✔ ケガをした場合には、土壌などに汚染された傷を洗浄する
- ✔ 長袖のシャツや長ズボンを着用（肌の露出を避ける）

清掃作業時の服装

